

## 州兵 日本人のけが人を救助 *Deployed NG Airmen act quickly to help injured Japanese civilian*

September 19, 2022

By Staff Sgt. Ryan Lackey  
374th Airlift Wing Public Affairs

「機敏な戦闘展開」(ACE)は、絶え間なく変化する任務に柔軟に対応する、複数の役割を担える空兵を育成する米空軍の構想である。一方で、軍の任務以外の場所で習得した役立つスキルを、空兵が不測の事態で想定外の力を発揮することもある。

2022年8月10日朝、横田基地ターミナルゲートのすぐ外の交通量の多い道路で、日本人同士の車とバイクの接触事故が発生した。(第374施設中隊)即応緊急管理小隊に派遣で来ていた二人のカリフォルニア州空軍州兵は事故を目の当たりにし、直ちに現場に駆け付けた。

「建物の前にいたら、事故が起きたと言って人々が駆け出てきた」「同僚のプラネイと顔を見合わせると彼は『(民間の仕事でいつも携わっている)俺たちの出番だ』と述べ、そのまま二人は仕事モードで救助に向かった」と、第129救助航空団緊急管理専門官ロバート・スクラッグス上級空兵はその時を振り返った。



二人の空兵は即座に状況を把握し、けがをした日本人を安全な場所に運び他の車が通行できるようにし、けがの状態を確認し救助隊員が到着するまでの間、自分たちが持ち出した医療キットを使い応急処置を続けた。

第129救助航空団緊急管理見習いプラネイ・マンガアマラニ上級空兵は、「我々が精通している場面で、助けるべきかどうか考える間もなく体がとっさに動いた」「二人とも民間の仕事で何度もこうした状況に対応してきたので、すぐに応急処置を手掛け、航空自衛隊の隊員に通訳を頼み、現場を取り仕切った」と述べた。

事故から30分経たないうちに警察・救急隊が到着し、彼らは到着した日本の救急隊員に処置の引き継ぎを行い、けがの状況と追加処置の時間を短縮するために行った応急処置について書いたリストを渡した。

普段二人は民間で、スクラッグス上級空兵はカリフォルニア州ボルダークリークの防火地区で消防士として、マンガアマラニ上級空兵はカリフォルニア州森林保護防火局でエンジニアとして働いており、救急初動隊員、安定化処置、自動車事故対応等幅広い経験を積んでいる。

米空軍は、州兵や予備役構成部隊を含む総合戦力チームであり、これらの補助部隊は、独自の能力、スキル、民間の仕事での経験をもたらし、国内のより有能な軍力、海外の紛争環境下でのより強力な軍力の実現を可能にしている。

第175航空団緊急管理下士官責任者デレク・ホワイト曹長は、「空軍州兵はさまざまな経歴を持ち、スキルを携えている」「複数の役割を担う米空軍のACE構想が実を結んだ。二人の空兵は、人命救助のために躊躇することなくそのスキルを発揮し、気持ち一つで行動に移した」とコメントした。